

教の協だより

東山梨教育協議会
No. 3

事務局
Tel : 33-2635
Fax : 33-3944
Mail : kenkyu@e103.net

教育講演会のお知らせ

演
題

「私の感じた オリンピック・パラリンピック」

【講師】シドニー五輪競泳日本代表 萩原智子



中学3年生時に、海外遠征カナダ選手権200m背泳ぎで、当時、日本歴代2位となる日本中学新記録樹立。高校インターハイでは、200m背泳ぎで、3連覇達成。同年アジア競技大会では、個人、リレー種目で、3個の金メダルを獲得。2000年シドニー五輪、200m背泳ぎ4位、200m個人メドレー8位入賞。2002年日本選手権では、100m、200m自由形、200m背泳ぎ、200m個人メドレーで史上初の4冠達成。「ハギトモ」の愛称で親しまれ、2004年現役引退。5年の歳月を経て、2009年現役復帰宣言。復帰レースとなった新潟国民体育大会では大会新記録で優勝。翌年2010年には、30歳にして日本代表に返り咲いた。同年、ワールドカップ東京大会で50m自由形、100m個人メドレーで、短水路日本新記録を樹立。順調な仕上がりを見せていた矢先、五輪前年である2011年4月に、子宮内膜症・卵巣のう腫と診断され、手術。手術後は精力的にリハビリに励み、レース復帰。2012年2月のJAPAN OPENでは、50m自由形で短水路日本記録を

樹立。4月に行われたロンドン五輪代表選考会ではレベルが上がってきた女子自由形で、堂々と決勝に残り、意地を見せた。若手のスイマー達に刺激となる存在である。2013年6月、日本水泳連盟理事に就任。2015年、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会アスリート委員にも就任した。現在は、テレビ・ラジオ出演や水泳の解説のほか、自ら現場に行って取材を行い、ライターとしても活動の幅を広げ、2014年にはNHK総合テレビ「NEWS WEB」でもネットナビゲーターとしても活躍。メディア出演のほかにも、これまでの人生経験をもとに講演活動を行うほか、改めて、自身を育ててくれた「水」に感謝し、水泳教室はもとより、「水の大切さ」や「水の教育」にも取り組む水でエデュケーション・コミュニケーションする「水ケーション」の活動にも注力している。また山梨県、福島県、愛知県で水泳大会「萩原智子杯」も開催している。

※株式会社スポーツバックスHPより

東京2020 オリンピック・パラリンピックまで およそ360日！！

オリンピック・パラリンピック競技大会の究極の目標は「平和でより良い世界の構築に貢献する」です。日本全国でオリンピック・パラリンピックに向けた機運が高まる中、私たち教職員も、子どもたちと共に期待に胸を膨らませていることでしょう。

そんな中、オリンピック・パラリンピックに、より教育的な価値を見だし、子どもたちにオリパラ教育をどのようにして進めればよいか、悩まれている方も多いのではないのでしょうか…。

今回のご講演では、世界でご活躍された萩原智子さんの経験談はもちろん、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会のお立場からも、子どもたちにどのようにオリパラ教育を進めていけばよいのかなども、ご示唆頂けます。

二学期からの、オリパラ教育に生かせるヒントがたくさん詰まった講演会です！！

日時：8月7日（水）

受付：9:15～ 開会：9:30

場所：山梨市民会館 大ホール

駐車場は、市民会館周辺、旧庁舎跡地をご利用下さい。
駐車可能台数には限りがありますので、1台3名以上の乗り合わせにご理解とご協力をお願いします。